

宮城県感染症発生動向調査情報(第13週)

宮城県【平成25年04月04日】発行

宮城県保健環境センター

TEL (022)257-7228

— 2013.3.25 ~ 3.31 ・ 第13週 —

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾 病	保 健 所								患者数	累計	宮 城 県 (含む仙台市)			
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	仙台市			患者数	累計	第10週	第11週
水痘	10 2.00	12 1.20	8 1.60	2 1.00	2 0.67	9 1.80		24 0.92	67 1.16	1,029	◎ →	◎ →	◎ →	◎
流行性耳下腺炎		2 0.20				6 1.20	2 1.00	7 0.27	17 0.29	343	○ →	レ →	○ →	レ
百日咳											→	→	→	
感染性胃腸炎	44 8.80	47 4.70	16 3.20	14 7.00	16 5.33	111 22.20	13 6.50	184 7.08	445 7.67	5,216	◎ →	◎ →	◎ →	◎
手足口病			1 0.20		2 0.67	1 0.20		2 0.08	6 0.10	141	→	→	→	
伝染性紅斑	1 0.20	1 0.10					3 1.50	1 0.04	6 0.10	102	→	→	→	
突発性発しん	1 0.20	5 0.50	3 0.60		3 1.00	3 0.60		20 0.77	35 0.60	415	○ →	○ →	○ →	○
ヘルパンギーナ											→	→	→	
インフルエンザ	30 3.75	22 1.47	18 2.25	7 2.33	32 6.40	20 2.50	17 4.25	59 1.40	205 2.20	14,408	◎ →	◎ →	◎ →	◎
咽頭結膜熱	5 1.00	2 0.20		1 0.50		1 0.20		13 0.50	22 0.38	212	→	→	○ →	レ
流行性角結膜炎	3 3.00							1 0.17	4 0.33	21	→	→	→	
急性出血性結膜炎	2 2.00								2 0.17	3	→	→	→	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	15 3.00	30 3.00	9 1.80	2 1.00	1 0.33	49 9.80		30 1.15	136 2.34	1,424	◎ →	◎ →	◎ →	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)											→	→	→	
無菌性髄膜炎								1 0.20	1 0.08	3	→	→	→	
マイコプラズマ肺炎	1 1.00	1 1.00	2 2.00			2 2.00	5 5.00	1 0.20	12 1.00	286	レ →	→	→	
クラミジア肺炎(オウム病は除く)			2 2.00						2 0.17	11	→	→	→	
RSウイルス感染症		2 0.20						5 0.19	7 0.12	179	→	→	→	
拡張疾病	マイコプラズマ肺炎(小児科)	5	3	2	3	3	1	2	1	◎：流行の変化について、今後の情報に十分注意 ○：発生または流行について、今後の情報に留意 レ：発生が少なくなっている傾向				
	川崎病	1								《週報の詳細》宮城県保健環境センターのホームページをご覧ください。 http://www.ihe.pref.miyagi.jp/~kansen-center/				
	不明発疹症								3					

今週の全数報告疾病

*男児、女児は6歳未満

- 1類感染症: 報告なし
- 2類感染症: 結核
 - 大崎管内 男性2名、女性1名(関連)
 - 仙台管内 女性1名(第12週)
 - 男性2名、女性1名
- 3類感染症: 報告なし
- 4類感染症: 報告なし
- 5類感染症: クロイツフェルト・ヤコブ病
 - 仙台管内 女性1名
 - 後天性免疫不全症候群
 - 仙台管内 男性1名(第12週)
 - 梅毒
 - 仙台管内 女性1名
 - 風しん
 - 仙台管内 男性1名(臨床診断例)
 - 女性1名(検査診断例)

今週のインフルエンザによる入院患者報告 1例
(仙台市を含む基幹定点報告)

今週の感染症のコメント

— 宮城県感染症対策委員会情報解析部会 —

[感染性胃腸炎]
石巻管内で警報継続中。
患者数は横ばい状態であるが、塩釜管内の感染性胃腸炎患者より
ロタウイルスが検出されているので、今しばらく注意が必要である。

[A群溶血性レンサ球菌咽頭炎]
石巻管内で警報継続中。

[急性出血性結膜炎]
仙南管内で警報値を超えた。

[伝染性紅斑]
気仙沼管内で警報継続中。

[病原体検出情報]
～保健環境センター～
インフルエンザ患者より
仙南管内 第11週採取分 インフルエンザA(H3)型遺伝子 1件
インフルエンザB型遺伝子 1件
第12週採取分 インフルエンザB型遺伝子 1件
感染性胃腸炎患者より
塩釜管内 第13週採取分 ロタウイルス遺伝子 4件

～仙台医療センターウイルスセンター～

	第11週採取分 (3.11～3.17)	第12週採取分 (3.18～3.24)	第13週採取分 (3.25～3.31)
インフルエンザウイルスA(H3)	1件	0件	0件
RSウイルス	2件	0件	5件
アデノウイルス	3件	1件	0件
単純ヘルペスウイルス	0件	1件	1件

インフルエンザ関連情報 (患者報告年齢群別割合)

報告週	0～4歳 (%)	5～9歳 (%)	10～14歳 (%)	15～19歳 (%)	20～29歳 (%)	30～39歳 (%)	40～49歳 (%)	50～59歳 (%)	60～69歳 (%)	70～79歳 (%)	80歳～ (%)	総数 (人)
2013年 第5週	20.3	29.9	16.4	4.8	5.6	8.0	5.9	3.9	2.8	1.3	1.2	2,603
第6週	19.0	29.5	19.6	4.3	4.5	6.8	6.3	4.3	3.3	1.2	1.1	2,036
第7週	21.9	26.4	15.3	4.2	5.2	7.2	7.2	5.0	3.2	2.2	2.3	1,146
第8週	21.2	27.7	17.6	3.7	5.2	6.8	5.4	4.9	3.6	2.6	1.5	1,008
第9週	23.1	27.3	20.4	3.8	3.2	6.6	6.4	3.8	2.5	1.3	1.6	761
第10週	22.5	29.2	17.3	4.3	5.0	7.5	4.5	3.9	2.9	2.0	1.1	561
第11週	20.3	31.7	11.2	3.7	6.1	8.8	4.3	4.8	3.7	3.5	1.9	375
第12週	21.6	30.0	14.1	3.8	0.9	6.1	8.0	4.7	4.7	1.9	4.2	213
第13週	20.5	22.0	16.1	4.4	8.8	7.8	6.3	6.3	3.4	2.9	1.5	205

インフルエンザ定点
インフルエンザ定
点は、内科定点と
小児科定点を合わ
せたもので、県全
体で93定点です。
宮城県:51定点
仙台市:42定点
合 計:93定点

定点把握の対象となる5類感染症(全国 2013年第11週)

(国立感染症研究所感染症情報センターホームページより抜粋)

インフルエンザ: 定点当たり報告数は第5週以降減少が続いている。都道府県別では愛知県(22.51)、岐阜県(17.80)、山口県(17.46)、鹿児島県(17.42)、福井県(16.25)が多い。RSウイルス感染症: 報告数は1,023例と3週連続で減少した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約78%を占めている。咽頭結膜熱: 報告数は減少した。大分県(1.11)、宮崎県(1.06)、福岡県(0.81)が多い。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎: 報告数は減少した。石川県(7.55)、山形県(5.33)、富山県(5.28)が多い。感染性胃腸炎: 報告数は減少した。熊本県(16.14)、大分県(15.81)、宮崎県(15.47)が多い。水痘: 報告数は減少した。沖縄県(3.59)、宮崎県(2.75)、鹿児島県(2.33)が多い。手足口病: 報告数は横ばいであった。島根県(1.52)、福岡県(1.39)、沖縄県(1.15)が多い。伝染性紅斑: 報告数は2週連続で減少した。富山県(0.31)、岩手県(0.13)、新潟県(0.13)、滋賀県(0.13)、鹿児島県(0.13)が多い。百日咳: 報告数は減少した。宮崎県(0.06)が多い。ヘルパンギーナ: 報告数は減少した。長崎県(0.23)、富山県(0.10)、香川県(0.07)、鹿児島県(0.07)が多い。流行性耳下腺炎: 報告数は減少した。福井県(1.55)、秋田県(1.14)、山形県(0.90)が多い。マイコプラズマ肺炎: 報告数は増加した。宮城県(2.00)、沖縄県(1.57)、埼玉県(1.56)が多い。